

## 文部科学大臣賞

### 親切の形

三重県 港中学校 二年  
藤原 芯樹

「なあ<sup>しんじゅ</sup>芯樹。優しさや親切って難しいな。」

突然、母が言った。

僕の祖父は<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞で入院していた。発見が早かったので一週間の入院ですみ、後遺症も残らなかったからよかった。でも、僕は祖父が退院してきてからも、祖父のためにできることはないかと、一生懸命に考えて行動した。祖父がしようとしていることを、先まわりしてやっていた。僕はそれを小さな親切だと、僕からのお礼だと思っていた。

小さなことだけれど、食後の食器の片づけや、玄関で靴を履くときに手伝った。その度に祖父は、「すまん。ありがとう。」と言ってくれた。僕も祖父を助けることができ嬉しかった。だから、母の言葉に驚いた。

僕は母に、「ゆっくり話をしよう」と部屋に連れていかれた。そして、何を言われるのだろうと思っていたら、

「いつも、おじいちゃんに優しく、親切にしてくれて本当にありがとう。」と言ってくれた。僕はホッとしたけれど、母はすぐに最初の言葉に戻った。

母はゆっくりと僕に、祖父の症状を話してくれた。

本当に軽症で後遺症は何も残っていないこと。今までと変わりのない生活ができること。そして、それを自分の力ですることがリハビリになること。今は祖父を見守ることが、家族のできる一番の優しさと親切だと言った。

僕の親切も立派な親切だけれど、もう少し小さな親切にしてほしいと言った。僕はきつと、納得がいかない顔をしていたのだと思う。母は気づかれないように、僕に祖父の姿を見せた。祖父は食後の食器もスッと下げて、玄関の靴も今まで通りに履けていた。

僕はびっくりした。そんな僕に母は、

「次の親切は、近くでそっと見守ること。でも、もしおじいちゃんが困っていたら、すぐに助けてあげてな。おじいちゃん、芯樹が親切にしてくれるって喜んでたで。」

と言った。そして「親切」の漢字の意味を教えてくれた。

「親を切る」と書いて親切だけれど、親切の“親”は「親しい、身近に接する」という意味。親切の“切”は「心から、ひたすら強く、切に願う」という意味。そして親切という漢字には、「より親しい」という思いも込められていると教えてくれた。「相手をより親しく大切に思う気持ちが親切に結びつく」と、僕は知った。

僕は今まで、親切は行動で表すものと思っていた。もちろん、行動で表さなければ伝わらない親切もたくさんある。でも、今の祖父に僕ができる親切は、見守ることだとわかった。正直、気持ちだけの親切が祖父に伝わるのか不安はあるけれど、生まれてからずっといっしょにいる祖父と僕には絆がある。これからも僕はより親しく、より大切に祖父を見守っていきたいと思った。

親切の形はいろいろある。でも、相手を思って優しくすることで、それは全て親切に結びつく僕は思っている。いろいろな形の親切が組み合わさって一つになり、僕たちは今、親切に守られて、幸せに暮らしていると思う。

これからは親切に限らず、何事も守られるだけではなく、守れるように、そして守る大人になれるように、僕は体も心も成長していこうと思った。